

● ご挨拶

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、皆様方に当金庫の経営方針や最近の業績、営業内容をより深くご理解していただくため「AISHINREPORT2023」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

日本経済は、ウィズコロナへ向けた流れが進み経済が回復基調にある中、ロシアのウクライナ侵攻を契機にエネルギー価格や食料価格が高騰し、円安の進行により企業物価が上昇する等、企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。また、国際的には、インフレーションの発生により金融引き締め動きが強まり、米欧銀行の破綻・買収などの金融システムへの不安も広がり、世界的な景気後退懸念が高まっている状況で、国内・国外のリスク要因により日本経済を取り巻く環境は不確実性が増しております。

金融政策においては、日銀が金融正常化に向け政策修正を模索するなど、金融経済への影響が懸念される状況で、マネー・ローダリング及びテロ資金供与対策、サイバーセキュリティ対策など様々なリスク対応も金融機関に求められており、リスク管理の強化も共通した課題となっております。

こうした中、当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者にとっては、コロナ禍を乗り越え業績は回復途上にあるものの、仕入価格や製造原価の高騰の影響を受けて、依然厳しい経営状態が続いており、インボイス制度や電子帳簿保存法への対応など、数多くの課題を抱え苦慮しております。

令和5年度は、「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」という信用金庫の相互扶助の精神のもと、令和4年度よりスタートした3ヶ年経営計画に掲げた基本方針である「繋げる」(①顧客と当金庫を繋げる②顧客と顧客を繋げる③顧客と地域を繋げる④支店と本部を繋げる)を着実に実践し、「地域に寄り添う経営」の強化を図る方針です。また、事業先においては、経営課題が特定できず、課題を抽出することが困難な事業先も見受けられ、顧客事業先一先一先との結びつきを深め、課題解決に向けた伴走者となり、外部支援機関や専門家の協力を得ながら「伴走型支援」の一段の深化を図り、将来へ向けての安定的な経営基盤の確立に努めてまいります。

何卒、今後とも会員各位の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月



理事長

本多 英明

